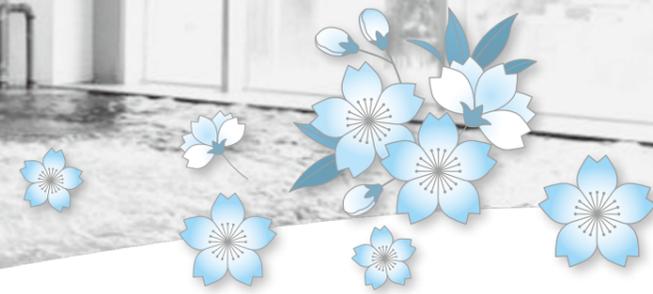


ユーパレス 弁天

営業時間 温泉……午前10時～午後11時
 プール……午前10時～午後9時
 物産館……午前9時～午後7時
 ホームページ <http://www.u-benten.jp/>



4月1日(火)から
 ユーパレス弁天の指定管理者が「ユーパレス弁天管理運営共同企業体」に変わります。

記念イベント開催

4月1日(火) 来場者に記念品を進呈 (数量に限りがあります)

4月からの新しいサービスを一部紹介

運動プログラムが新しくなります

●弁天元気倶楽部

市内の人を対象に自宅付近まで送迎を行ない、健康ランチと温泉入浴・歩行浴の後、頭と身体を鍛えるトレーニングをするプログラムです。物産館や売店での買い物も便利です。

●美魔女倶楽部

管理栄養士、理学療法士監修による食事・骨盤矯正・温泉入浴をセットにした女性の「美」をテーマにしたプログラムです。

●弁天健康倶楽部

おなか回りを減らしたい、シェイプアップをしたい、筋力をつけたいなど、要望に合わせたオーダーメイドプログラムを管理栄養士・健康運動指導士が提供します。

※温泉・プール・トレーニングジムはこれまでと同じ料金で利用できます。「総合型地域スポーツクラブ クラブにしごうし」の会員や、定期的に利用している人もこれまで通り利用できます。



レストランの料理も充実

地元食材を使用した「減塩美食膳」などのヘルシーメニューや女性向け「レディース会食」など、レストランメニューが充実します。



使って・貯めて・得をする ポイントサービスを始めます

温泉だけでなくレストランやプールでも使える利用ポイントサービスを始めます。現在、ポイント会員の登録を受け付けています。会員になると、ユーパレス弁天を利用するごとにポイントが貯まり、お得なサービスを受けることができます。詳しくは、弁天スタッフにお尋ねください。貯まったポイントで、すてきな賞品が当たる大抽選会も企画中です。

3月のイベント・サービス

- 風呂の日……【毎月15日・26日】入浴料(家族風呂は除く)半額。
- レディースデー……【毎月第1木曜日】現金で入浴した女性に次回入浴券をサービス。
- メンズデー……【毎月第1水曜日】現金で入浴した男性に次回入浴券をサービス。
- イベント湯……【毎月20日】男女露天風呂でイベント湯開催。
- 回数券の日……この日に回数券を購入すると「無料券3枚」をプレゼント。
- 日舞の日……【火曜日】大広間ステージでさまざまな団体による日本舞踊を披露
- 犬猫譲渡会……【日曜日15:00～】正面玄関(屋外)前で開催。

素敵な人生 素敵なパートナー



市男女共同参画
 推進懇話会副会長
 坂本 早苗

女性議員が過半数を占める 議会があった

「日本発！大磯町議会で女性議員が過半数を占める」という見出しをインターネットで見つけました。「定数14に対し女性8人が当選し、女性が町議会の過半数を占めることになった」という内容で、2007年の記事でした。今はどうなっているのだろうと神奈川県大磯町議会を検索すると2011年の選挙でも女性8人が当選し、女性が議長になっています。日本にもこんな議会があるとは。

政策・方針決定の場に女性をと言われます。大磯町議会には遠く及びませんが、合志市議会の女性議員割合は県内14市の中では一番高く、21人の議員の中で女性は4人、約19%です。
女性の管理職を増やして
 ところが議員以上に政策・方針

決定の大きな役割を果たす市役所の管理職では女性の部長は0、課長はたった1人です。市役所では重要事項を決定する「庁議」には部長職以上が出席します。当然女性も0です。これでは女性の声が届かないと訴えたところ、市長の英断でオブザーバーとして女性職員5人が参加できることになりました。しかしながら、オブザーバーでは十分力を発揮することができません。

これからのまちづくりには、福祉の充実が大きな課題です。道路や建物の建設、さまざまな相談事業にもぬくもりのある福祉の心が必要です。育児や介護など中心的な役割を担ってきた女性の視点が欠かせません。
 女性管理職を育む環境整備と、女性職員の前向きな向上心を期待するところです。

こうし 歴史発見

第53回

合志市内の学校⑩ 西合志中学校

第二次大戦後の新しい教育制度の特徴は、六・三・三制と言われるように、義務教育の年限を9カ年に延長し、前期中等教育(小学校教育)が国民全員に開放されたことにあります。この学制改革により、昭和22年には、新学制による小・中学校が、昭和23年には新制の高等学校が発足しました。(旧制の中学校と高等学校は新制の高等学校となりました。)

こうした中で、西合志中学校は昭和22年に、旧青年学校の校地と校舎および中央小学校の一部を仮校舎として発足しました。当時の生徒262人は、こうした不十分な環境をもとめず、学業やスポーツに励みました。

昭和25年には、現在地に新校舎が完成。また、昭和27年には運動場も整備され、校歌も制定し名実共に中学校としての体裁を整えました。生徒数も次第に増え、昭和39年には727人を越えました。その後しばらくは減少を続けまし

たが、それもつかの間、昭和40年代から須屋地区の人口が増えたことにより、昭和54年には645人になりました。そこで将来の生徒増にも対応するため昭和55年には須屋の現在地に西合志南中学校が分離・開校しました。その間、昭和32年と33年には西合志中学校の分校が肥後学園内や再春荘病院内に相次いで設置されました。(ただし、両校とも昭和41年に本校より分離し、県立菊池養護学校となりました。)なお、現在の校舎は、平成20年に新築されました。

本年度は、生徒一人一人の確かな学力を育てる学習基盤づくり、仲間と共に高めあう双方向の言語活動を中心に、を研究主題にすえ、教職員生徒が一体となった学校づくりに励んでいます。



昭和25年頃の西合志中学校